

問 1

以下の文章の空欄部分に当てはまる語句を解答し、下線部と対応する各設問に解答せよ。

(A) ある国のマクロ経済活動の水準を、フローとストック⁽ⁱ⁾の両面から測る制度のことを国民経済計算、あるいは英語表記の各単語の頭文字を取って〔ア〕(3文字)という。日本では、国民経済計算は〔イ〕の経済社会総合研究所によって毎年作成されている。統計資料の国際比較を行えるように〔ウ〕が作成基準を設定している。〔エ〕年11月から、現在のデータは〔オ〕年に作成された基準と対応している。

(B) 中でも代表的な変数はGDP(国内総生産)⁽ⁱⁱ⁾である。GDPとは、一定の期間のある国の経済において(Domestic)、新たに生産されたすべての財・サービス(Product)の価値を市場価格で評価して経済全体で合算した総額〔カ〕である。つまり、GDPはすべての財・サービスの〔キ〕の総額である。(キ)を計算する際は二重計上を防ぐため、最終財の価値から〔ク〕の価値が控除される。GDPは(キ)の粗額を表しているが、GDPから〔ケ〕を控除したものはNDP(国内純生産)である。GDPはGDI(国内総所得)とGDE(国内総支出)⁽ⁱⁱⁱ⁾に等しく、これは〔コ〕の原則と呼ばれる。また、GDPは国内概念を基準とする一方で、GNI(国民総所得)は国民概念^(iv)を基準としている。

(C) 国民経済計算には海外取引の分も含まれる。これに該当する分は、〔サ〕と日本銀行が共同で作成している国際収支統計に依拠している。国民経済計算と同様に、国際比較が可能になるよう、国際収支統計は〔シ〕が定めたマニュアルに基づいている。国際収支統計は、経常収支、資本移転等収支、そして金融収支の3つに大別される。誤差脱漏を無視する場合、3つの収支の関係を式で表すと「経常収支=〔ス〕」である。経常収支に含まれるのは、貿易・サービス収支、所得収支である〔セ〕、経常移転収支である〔ソ〕の3項目である。新型コロナウイルス拡大直前は、貿易収支は〔i〕でサービス収支は〔ii〕であった一方で、感染拡大直後、貿易収支は

〔iii〕でサービス収支は〔iv〕となった^(v)。2020年以降は特に、外国人旅行者が減少し、そしてデジタル関連の支出が増加した。ただし、2023年からは外国人旅行者の客足が回復している。

(1) 以下の中から、フロー変数に含まれないものを1つ選べ。

- ①所得
- ②労働者数
- ③売上高
- ④GDP

(2) 以下の中から、GDPに含まれないものを1つ選べ。

- ①株価の上昇に伴う利益
- ②農家の自己消費
- ③政府の活動
- ④中古車の買取手数料

(3) 1. GDI と 2. GDE について

1. 「間接税」、「補助金」、「(ケ)」、「雇用者報酬」、「営業余剰・混合所得」の語句を用いて、GDIに関する式を作成せよ。ただし、「GDI=〇〇」の形で表すこと。

2. 以下の文章を読み、空欄(S)~(U)に適切な語句を当てはめよ。

家計の消費需要を C 、企業の設備投資と在庫投資を I 、政府支出を G 、財・サービスの輸出を EX とすると、(最終財に対する)国内での総需要は〔S〕と表せる。

国内で生産された最終財の合計を Q 、輸入最終財の供給額を MF とすると、(最終財の)国内での総供給は次のように表される。

$$\text{国内での総供給} = Q + MF$$

ここで、輸入中間財 MZ を使って右辺を変形してみる。国内の総需要と総供給は等号が成り立つため、総需要の式と総供給の式を組み合わせて次のような式が得られる。

$$Q - \boxed{(T)} = \boxed{(S)} - \boxed{(U)}$$

上記の文章(B)により、左辺は生産面で見たと GDP を表すといえる。一方で右辺は支出面で見たと GDP であるから、「GDP (生産側) = GDP (支出側)」が成立する。

(4) 以下の中から、国民概念に基づいて日本の GNI に含まれるものを 1 つ選べ。

- ① アメリカ国内に 1 年間居住する日本人の所得
- ② MLB に在籍する大谷翔平の年俸
- ③ 日本企業の外国人投資家に対する配当金
- ④ 国内に 6 か月駐在しているアメリカ軍人の所得

(5) 上記の空欄(i)～(iv)に最も当てはまる語句の組合せとして適当な選択肢を選べ。

- ① (i)赤字 (ii)黒字 (iii)黒字 (iv)黒字
- ② (i)黒字 (ii)赤字 (iii)赤字 (iv)赤字
- ③ (i)赤字 (ii)赤字 (iii)黒字 (iv)黒字
- ④ (i)黒字 (ii)黒字 (iii)赤字 (iv)赤字
- ⑤ (i)黒字 (ii)黒字 (iii)黒字 (iv)赤字
- ⑥ (i)赤字 (ii)黒字 (iii)赤字 (iv)黒字

計 35 点 ((ア)～(ソ) : 各 1 点, (1)(2)・(3)1.・(4) : 各 2 点, (3)2. (S)～(U)・(5) : 各 3 点)

問 2

[I]

以下の表は、2020 年から 2022 年までの、ある国における財 A, B, C の価格とその取引量をまとめたものである。2020 年を基準年にした場合の、(1) 2022 年の実質 GDP, (2) 2022 年の GDP デフレーター, (3) 2022 年の消費者物価指数 をそれぞれ求めよ。なお、小数点第 2 位は四捨五入すること。

| | 2020 年 | | 2021 年 | | 2022 年 | |
|--------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 価格 | 取引量 | 価格 | 取引量 | 価格 | 取引量 |
| A | 1 | 100 | 2 | 150 | 3 | 150 |
| B | 2 | 50 | 3 | 100 | 4 | 150 |
| C | 1 | 100 | 1 | 150 | 2 | 150 |
| 名目 GDP | | | | | | |

計 10 点((1)(2) : 各 3 点, (3) : 4 点)

[II]

家計は 2 期間の効用を最大化するように、第 1 期と第 2 期の消費を決定する。第 1 期と第 2 期の消費をそれぞれ C_1, C_2 とし、所得をそれぞれ Y_1, Y_2 とする。家計は第 1 期に、 $S = Y_1 - C_1$ の貯蓄を行い、この貯蓄は利子率 r で運用される。貯蓄した資産は第 2 期ですべて消費に充てると仮定する。

(1) $r = 0.1, Y_1 = 200, Y_2 = 275$ の場合、この家計の生涯所得(2 期間)はいくらか。

(2)(i) 第 2 期の所得が一定で、第 1 期の所得が増加する場合と、(ii) 第 1 期の所得が一定で、第 2 期の所得が増加する場合に分けて、貯蓄がどのように変化するか述べよ。

(3) 利子率が上昇または低下すると、貯蓄はどのように変化するか。

計 10 点((1)(3) : 各 3 点, (2) : 4 点)

問 3

以下の設問に解答せよ。計算の際は下記の記号を参考にしてもかまわない。

| | | | |
|-----------|------------|--------------|------------|
| Y : GDP | C : 消費 | I : 設備投資 | G : 政府支出 |
| T : 租税 | A : 基礎消費 | c : 限界消費性向 | |

- (1) $c = 0.6$ のときの政府支出乗数と租税乗数の値をそれぞれ求めよ。(完答)
- (2) c が任意の値をとるとき、均衡予算乗数はどのような値をとるか(貿易収支=0)。
- (3) $c = 0.6$, 貿易収支 = $EX - 0.2Y$ (EX : 輸出) であるときの均衡予算乗数の値を求めよ。
- (4) 好況期の場合の、ビルトイン・スタビライザー(自動安定化機能)としての所得税の役割を述べよ。ただし、 $T = B + tY$ の式が成り立つとする。

計 15 点((1)(2) : 各 3 点, (3) : 4 点, (4) 5 点)

問 4

以下の設問に解答せよ。

- (1) マクロ経済学においては「貯蓄のパラドックス」と呼ばれる合成の誤謬が存在するが、それについて具体的に述べよ。ただし、数式やグラフは用いないこと。
- (2) ケインズ型消費関数とは異なる、家計の消費と所得の関係を述べた「ライフサイクル仮説」について具体的に述べよ。
- (3) 新古典派投資理論とは独立した「トービンの q 理論」という投資理論がある。平均 q という指標は以下のように定義される。

$$\text{平均}q = \frac{\text{株価総額} + \text{負債総額}}{\text{資本の再取得費用}}$$

平均 q の値について場合分けし、各場合の望ましい設備投資について述べよ。

計 30 点(各 10 点)